

社名	今後、取り組む予定の対策
a社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調機の更新（空調機、ファンコイル、コイルユニット、排気ファン、全熱交換機）＝2015年から順次</li> <li>・ターボ冷凍機の更新＝同上</li> <li>・コンプレッサーの更新＝同上</li> <li>・輪転機主機盤室空調の外気冷房化＝2014年から</li> </ul>
b社	省エネ機器の導入（中長期計画として2015年から18年を目標としている） <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明</li> <li>・高効率熱源機器</li> </ul>
c社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新期を迎えた照明のLED化（研究中。時期未定）</li> <li>・老朽化した空調機の更新（同上）</li> <li>・次期システムの省電力化（同上）</li> <li>・氷蓄熱槽の増設（同上）</li> </ul>
d社	[工場の設備更新] <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調機の更新（時期未定だが四分割して実施）</li> <li>・照明（水銀灯）を現在照度に合わせたLED化（時期未定）</li> </ul> [東西両本社] <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞制作用サーバー更新（2015年度～2016年度）</li> <li>・メインサーバー・ストレージ更新（2017年度）</li> </ul>
e社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社ビル：車路・屋上の水銀灯をLEDに更新（2015～2020）</li> <li>・支社も交換時に順次切り替える予定</li> <li>・工場：空調機器モーターのインバーター化を検討中（2015年度）</li> </ul>
f社	空調機の省エネ型への切り替え（順次）
g社	既に市販されている高濃度のカラーインク以外に、メーカーと共同で進めている高濃度のスミインクが実用化できる見通しが立ち、2015年度内に切り替える予定
h社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレート式熱交換器の保温ジャケット取り付け（2015年度）</li> <li>・照明器具をLEDに更新（2016～18年度）</li> <li>・トップランナー方式の空調機に更新（2016～18年度）</li> </ul>
i社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建屋設備更新時に高効率、省エネ対応設備を導入する（2工場でコンプレッサー各1台更新、他の1工場で高効率型ターボ冷凍機1台更新。その他各種空調機、温水器など）</li> <li>・輪転場天井照明器具や管型照明器具のLED化</li> <li>・各種省エネ機器の導入（工場でコンプレッサー冷却塔、冷却水ポンプ省エネ対策など）</li> </ul> ※以上、2015年度更新予定案件
j社	工場の空調用熱源機器5台を更新予定（2016年度）
k社	照明を従来の蛍光灯からLEDへ交換（本社ビル 2015年）
l社	トップランナー変圧器（高効率）への更新（本社、2017年度前半）
m社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明器具のLED化の推進を各年度で継続実施（2015年）</li> <li>・関係部署との省エネ推進会議を随時実施（2016年）</li> <li>・空調機・ポンプのインバーター化の検討会議（2017年）</li> <li>・冷媒ガス（R-22）を使用したエアコンの更新（2018～20年）</li> </ul>
n社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社照明器具をLEDに更新する検討（2019年予定）</li> <li>・本社ビル硝子面に遮熱フィルムの採用を検討（2015年度）</li> <li>・印刷刷版のリサイクルプレートについて検討（未定）</li> </ul>
o社	2014年度に続き、2015年5月にも本社館内（一部）の照明工事を行いLED照明とした。約50,000kWh削減予定。
p社	4×1輪転機を2セット導入予定。旧式輪転機に対し、エネルギー使用量の大きな削減効果が見込まれる（2016、17年度）
q社	デマンド削減装置の導入（2015年度）
r社	2015年度に輪転機（2台）を更新する。新しい設備導入に伴い、相応の省エネ効果が期待できる。